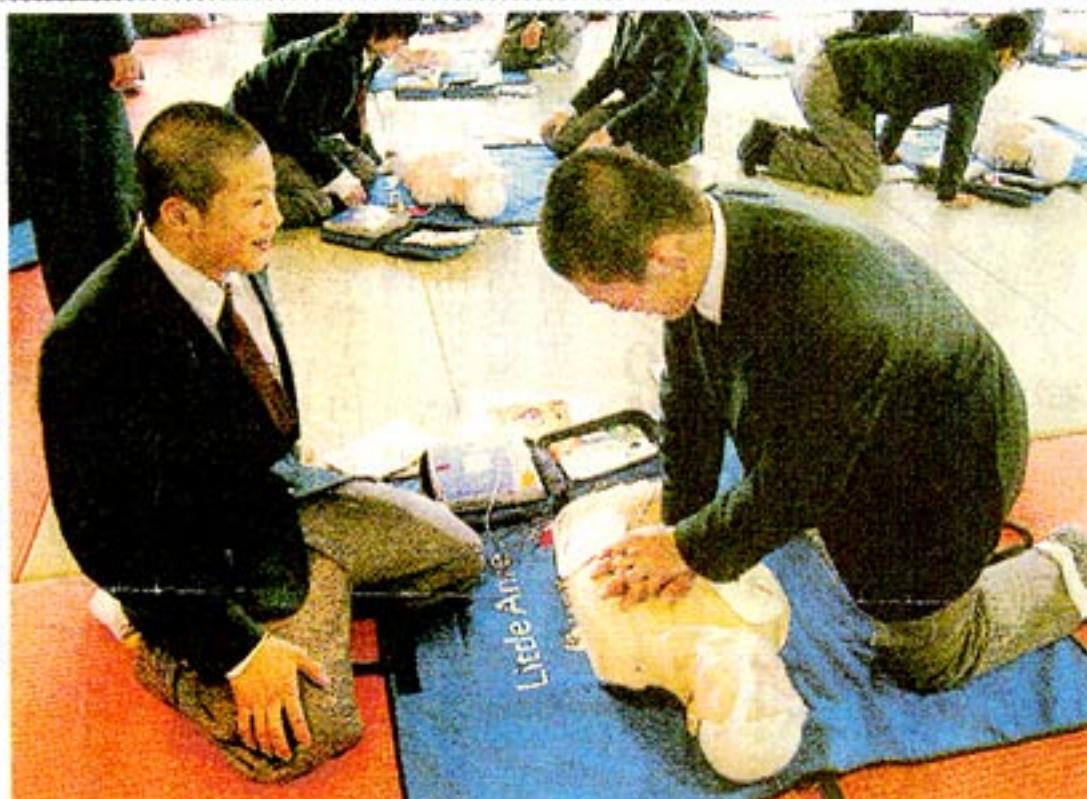


2006年(平成18年)2月25日 土曜日

「万一」に備え AED設置



真剣な表情で救命救助の訓練を行う生徒

生徒ら早速、使用法学ぶ

大垣市林町の大垣日大高校二十四日、同高生徒の保護者森田英文さん(愛知県豊橋市)からAED(自動体外式除細動器)二台が寄贈され、運動部の生徒ら約五十人が使用方法の講習を受けた。県内の私立高校へのAED導入は初めてという。森田さんは自身も心臓が弱く、高校生でも心肺停止状態になることがあるため、いざとい

大垣日大高 生徒の親寄贈

県内私立高初の導入

大垣市林町の大垣日大高校二十四日、同高生徒の保護者森田英文さん(愛知県豊橋市)からAED(自動体外式除細動器)二台が寄贈され、運動部の生徒ら約五十人が使用方法の講習を受けた。県内の私立高校へのAED導入は初めてという。森田さんは自身も心臓が弱く、高校生でも心肺停止状態になることがあるため、いざとい

講習では、豊橋ハートセンターオーの臨床工学技士杉浦武治さんらが講師を務めた。生徒らは、人形を相手に心臓マッサージや人工呼吸などを練習。

つた。

杉浦さんの「AEDを使用するまで心臓マッサージをして」などのアドバイスを受け、真剣な表情で取り組んでいた。続いて贈呈式があり、「ありがとうございます。今回の経験を生かし、救助の場面に遭遇したら役立てたい」とお礼を述べた。(岡田朋未)

